

心のまちづくりを目指して

れ変わる狭山市駅西口地区



市と市街地再開発事業の施行予定者・独立行政法人 都市再生機構では、狭山市駅西口地区整備に向けた事業計画の検討を進めています。今月は、この検討の状況や整備の概要を完成イメージでお知らせします。

狭山市駅西口地区整備の取り組み状況

狭山市駅西口地区は、駅前広場や都市計画道路が未整備のため、安全性の確保やまちの活性化などの面で多くの問題を抱えています。

そこで市の中枢拠点にふさわしい、魅力ある空間を備えた、安全でにぎわいのある市街地の形成を図るため、権利者で組織された再開発協議会と協議を重ね、市街地再開発事業での

3つの事業で構成する狭山市駅西口地区整備
狭山市駅西口地区の整備は、次の3つの事業で構成しています。

市街地再開発事業

狭山市駅西口駅前を中心に約2・9ヘクタルの地区で、都市計画道路をはじめ、駅前広場や市民広場などの公共施設と、建築物や建築敷地の整備を行います。市と権利者の要請を受け、都市再生機構が施行予定者となり、市と協力して事業を進めています。

現計画では、商業施設は将来の商業計画にも柔軟に対応できるように、住宅棟とは別棟の施設にしました。住宅棟は市民広場に面した位置とし、住環境の向上を図っています。

都市再生機構では、現在、平成18年3月の事業認可申請に向けた計画書案などの作成を進めています。

整備を推進することになりました。

市では、県など関係機関との協議や都市計画審議会の審議を経て、平成16年11月19日に市街地再開発事業約2・9ヘクタルを都市計画決定しました。

現在は、関係権利者との調整や新都市機能ゾーン整備事業、橋上駅舎・東西自由通路整備事業の整備内容の検討などが最終段階になっています。

新都市機能ゾーン整備事業

旧入間川小学校跡地などを利用した約4・5ヘクタルの地区で、市街地再開発事業の実施により転出する権利者の移転先宅地(計画宅地)の整備と新都市線などの整備を行います。

現在は、計画宅地の造成を優先し、歩道の整備や区域内道路の配置などの検討を行うとともに、市街地再開発事業区域から転出する権利者との調整を行っています。

橋上駅舎・東西自由通路整備事業

狭山市駅をバリアフリー化した橋上駅舎と西口と東口を結ぶ自由通路の整備を行います。

現在は、市街地再開発事業の進捗状況に合わせて整備できるように、西武鉄道(株)と協議を行っています。

市民意識調査 約7割が駅周辺の整備が必要



市では、皆さんから市政へのご意見や要望を伺うため市民意識調査を平成17年7月に行いました。市内にお住まいの20歳以上3,000名の皆さんにお願いし、1,540名の方から回答をいただきました。

その結果、市の取り組みのうち、「駅周辺の整備(狭山市駅西口・東口、入曽駅の整備など)」に関して、現在の満足度や

これからの重要度を伺ったところ、「不満・やや不満」が65.4%、「重要・やや重要」とした方が69.2%でした。このことから、多くの方が駅周辺の整備を望んでいることが分かりました。

整備事業費

(平成18年1月30日現在)

区分	市街地再開発事業	新都市機能ゾーン整備事業	橋上駅舎・東西自由通路整備事業	事業費の合計
概算事業費	234億円	28億円	17億円	279億円
上記のうち市の支出額	146億円	27億円	11億円	184億円
その他	国、県の補助金など	国の交付金など	西武鉄道株の支出金など	-

スケジュール

(平成18年1月30日現在)

区分	市街地再開発事業	新都市機能ゾーン整備事業	橋上駅舎・東西自由通路整備事業
平成17年度	3月 事業計画認可申請	-	-
平成18年度	事業計画認可公告 権利変換計画認可申請 権利変換計画認可公告	緑地及び計画宅地の造成	-
平成19年度	除却工事 A街区建築工事	新都市線第4工区工事	-
平成20年度	工事	工事	工事開始
平成21年度	A街区再開発ビルの引渡し・街開き	新都市線第4工区 工事完了	工事完了
平成22年度	B街区建築工事	新都市線第4工区 供用開始	-
平成23年度	完了	まちかど広場造成工事	-

4・5階では、駅前広場や市民広場など、狭山市駅西口地区整備の完成イメージを紹介します

狭山市駅西口地区の整備は、市の最重要課題です。狭山市の中枢拠点にふさわしい、魅力ある空間を備えた、安全でにぎわいのある市街地の形成を図るため、早期の完成を目指して取り組んでいきます。

また、新都市機能ゾーン整備と橋上駅舎・東西自由通路整備事業は、市街地再開発事業の進捗に合わせて、それぞれの工事を行う予定です。

平成23年度の完成を目指して狭山市駅西口地区整備事業の中心となる市街地再開発事業は、平成18年3月に事業計画の認可申請を行い、18年度から23年度までの6か年で施行していきます。

なお、市全体では、行財政改革の推進や各事業の調整などで、将来へ過度の財政負担や財源不足が生じない財政収支となることを見込んでいます。

国・県の補助金などを差し引いた約184億円で、起債や都市再生機構の割賦制度の活用で、年度ごとの支出の平準化と長期的な財政収支の均衡を図ります。

整備事業費と事業スケジュール

市の負担額は約184億円

狭山市駅西口地区の整備事業に向けた現在の事業費試算では、市街地再開発を中心事業とする3つの事業全体で約279億円です。事業別に見ると、再開発事業が234億円、新都市機能ゾーン整備事業が28億円、橋上駅舎・東西自由通路整備事業が17億円を予定しています。

これらの事業に必要な市の費用は、

安全・安 生ま

